

令和3年度市長タウンミーティング～新しいまつりイベント開催に向けて（第1回）～ 意見交換の概要（令和3年7月26日実施分）

○開催日時 令和3年7月26日（月）19時～20時30分

○開催場所 藤井寺市役所3階305会議室

○市長による開催趣旨説明

新しい形の、市民が作る、市民参加型の市民まつりを復活させていきたいと考えている。ご存じのように私も市長になる前はイベントや地域のための活動もさせてもらってきた。今は藤井寺駅周辺まちづくり協議会ではハロウィン、道明寺まちづくり協議会は歴史まつり、ハレマチフジイデラではハレマチビヨリ、藤井寺ライオンズクラブはファミリーフェスタをやっていただいております。ターゲットをある程度絞ったイベントが多いと感じている。私が思う市民まつりは、小さいお子さんから高齢者の方々が楽しめるイベントで、色々な団体や趣味を持っている方が発表やPRできる場であり、幅広くやっていくようなイベントがふさわしいと思っている。ただ、過去の市民まつりをそのまま復活させるといった発想ではなく、新しい形の持続可能なイベントをどういう形でやっていくのかということも踏まえた検討が必要であると思っている。

実施方法も今までは1ヶ所に大勢の人を集め、参加人数が成功のバロメーターになっていた。おそらくこれからの時代は、参加人数ではなく安心安全で皆が楽しめるイベントということがポイントになると思っている。サテライト的に複数のエリアで行う形が今後の市民まつりになる可能性もあるし、1ヶ所で集まるのが市民まつりだという声もあると思う。

柱に思っているのは「市民の皆さんに楽しんでもらえて街が元気になるようなイベント」がどのようなものかということで、この点に関しては様々なご意見があると思っている。公民連携という形で企業にも協力していただきたい。職員も色々な形で協力をしていく。市民、各種団体等色々な方々を巻き込んで楽しくやれるイベントができればと考えている。将来、ポストコロナの中でこういうイベントがあれば皆喜ぶのではというようなご意見を頂戴できればと思っている。

○新しいまつりイベントの実施について

（参加者意見）

・多世代が発表できる場や石川を使った遊びやフィールドワーク、体験ができるイベントが良いと思う。

・以前の市民まつりの会場であったスポーツセンターは、地理的に市内の中心だが市外の人から見てもあまり何をやっているかわからず、交通の便も良くないと思う。石川河川敷は市外の人々の目に触れる場所でもあるし、駅からも近く交通の便も良い。河川敷はサイクルロードが繋がっている

るので、周りの市も巻き込んで何か事業をする場所としては良いと考えている。

- ・色々な団体の発表の場を設ける場合は1日では終わらないことも想定される。例えばゴールデンウィーク中の2・3日にかけて実施するのも良いのではないか。

- ・市内には小さな古墳があるので、子どもにそれを発見してもらい藤井寺のことを知ってもらうイベントも良いのではないか。

- ・古墳が連なる道にサイクルロードもあるので、そこを活用したイベントをやってはどうか。

- ・まつりというと1カ所に人を集めるという印象があるが、大事なことはまつりが持つ非日常感をどう作っていくかである。1カ所に集めるイベントを最後に持ってきて、それまでの1週間は藤井寺のどこでも同じテンションの1つのまつりに参加できる状況を作り、どこに行っても等しくお祭り気分を味わえるという一体感を市全体で作っても面白いのではないか。

運営面でも1カ所に集めないのが負担が少ない。同じユニフォームを皆で着たり、同じ幟が立っていたりする等の演出に力点を置いて、中身としては、色々なエリアのお店がまつりの旗印のもとにセールをやったり街角でイベントをやっているなど、発表の場も各地でやっていたらよいと思う。1つの時間、1つの場所でギュッとするとどうしても無理が出てくる。期間を定めて、期間中どこに行っても自由に楽しめる空気感を作るのが良いのではないか。持続もできるだろうし、それが藤井寺に来るといった動機にもなる。分散とはいえ、マクロな視点で見ると大きな動きに見えると思う。

- ・分散型である程度期間を設けたイベントは良いと思う。

- ・市民まつりというよりはやはり以前のようなまつりをイメージしてしまう。発表の場に困っている方が大勢いることも問題であり、子供から高齢者まで、時期や場所・人・予算など考えることは多いと思う。

- ・以前の市民まつりは、当初は藤井寺青年会議所が5周年記念事業として市民まつりを実施した。それから5年程して市民の方による実行委員会に移管した。何か1つのシンボルがあるので、またマスコミも巻き込もうということで「しゅらまつり」という形で、藤井寺から出土した修羅をメインに、しゅら曳きであったり、その模型を作ったりしていた。年月が経過して実施側やボランティアが大変になったという経過がある。しかし、市民側からすると9月の祝日には市民まつりがあるということは認知していただいて反響は大きかった。なくなったことは大変残念だが、今のコロナの時代だからこそ、やり方は色々考えないといけないが、新しいまつりをやることは賛成である。

- ・以前の市民まつりで1番苦慮したのは人の問題である。ほとんどがボランティアで運営しており、開催まで約半年間の準備期間が必要で、かかりっきりになるわけではないが、かなりの負担がある。ボランティアを集めるのも時間がかかり、集まってから事業内容を検討する時間はないので、以前の内容をそのままするということが多々あった。発表の場を中心にした年もあるが、色々な人がいて苦情も多かった。実行委員会の人員が不足し、発表が終わった子どもたちが分散して保護者から苦情がきたこともあった。会場を分散する案もあったが、結局人不足でできな

った。場所の面では、スポーツセンターは確かに市の中心だが、駅から遠くどうやって行けばいいのかという苦情もあった。送迎バスを出す資金力もなく駐車場の問題もある。時期について、9月はまだまだ暑く、台風も心配である。

以前から市民まつりは市主導でやってほしいと思っていた。各種団体や市民が手伝うほうが継続的であると思う。まつりができなくなった1番の要因はボランティアが集まらなくなってきたことだ。これからのまつりを考えるのであれば市主導型でやっていただきたい。

・個人的には初回はまず市内のみんなで楽しめるイベントをやってみたい。そのあと第2回、第3回は外から人を呼んでくる感じがよいと思う。

(岡田市長)

やはり人やスタッフをどうやって集めるのかが1番大変な問題なので、実行委員会立ち上げの時は各種団体さんに協力していただきたい。様々なイレギュラーな問題に柔軟に対応できるのはやはり民間の力だと思うので、民間や一般の方が主導でやってくださる中で行政が裏方等の形で参加するほうがよいと思う。

○市長がめざす新しいまつりイベントの組織や運営方式について

(参加者意見)

・民間主導で実施するほうが良いと思っている。各種団体が運営者になるという考え方で運営もシェアするのが今の時代に合っている。各団体が1つとなるようにコアとなり引っ張っていく人材は確かに必要だが、各種団体が引っ張っていくものをシェアして分散型のイベントをやる方法もあるし、道明寺エリア・藤井寺エリア・小山エリア等の各エリアでそれぞれの団体が運営主体になり、テーマやTシャツ、ロゴマークを統一し市民まつりを打ち出すというコンセプトにすることもできるのではと思っている。

・イベント開催から3回は熱量だけでカバーできた。その後が問題で、毎年イベントを継続していくのは体力的にもしんどい。新しいアイデアも出なくなるし、ボランティアだけで運営するのは難しい。新しくまつりを作るにしても、全てを市に任せるというわけではないが、核になる部分は市に主導していただいて、そこにタッグを組んでいく方式がよいと思う。そうでなければ新しいまつりを10年続けていくのは難しいと思う。

・スタッフTシャツなどファッションで人を集めるのがよいと思う。イベントは半官半民の組織を作って、動けるスタッフに報酬を払えるようにしてはどうか。熱量だけに頼ってイベントを実施しても継続性は望めないことは過去の経験上見えている。持続的な流れを考えるのであれば、これまでのようにフルボランティアというスタイルを考え直したほうがよいのではと思った。

・まずはリーダーを決めて、趣旨や目的を明らかにしてから共感いただけるように賛同者を募り、組織を作っていき流れがよいのではと思う。特にリーダーシップを発揮できる方をリーダーにす

ることが重要である。

- ・ 熱い思い、情熱のある人がまず動くこと。流れができると自然と組織はついてくると思う。
- ・ 経験上、メンバーを変えないほうがよいと思った。リーダーが人を集められない場合、当日手伝える人は大勢いても途中がない。必要なのは当日までに準備を手伝ってくれる人。具体的には、どうしても昼間に動く必要がある時などの場合だが、サラリーマン・事業主ともに皆忙しい。今は誰も経験したことがないコロナの対応があるので、せめてワクチンが行き届いてからだと人は集めやすいのではないかと思う。今日は1人、明後日は2人、次は5人と集まってくるのがまつりだと思う。今日これだけ団体が集まれば、1つになってやろうかという声も上がってくると思うし、これだけ集まれば何かできると思う。できれば市長が持つまつりのイメージを示してもらいたい。会場は1カ所なのか、分散型なのかを決めてもらったほうが集まりやすいと思う。まつりをする事自体誰も反対していない。

(岡田市長)

市民協働という部分がすごく関わってくる部分だと思っている。自分も後継者のことを含め、継続の難しさはわかっている。官民それぞれの役割分担をうまくミックスし、核となる実行委員会の中心メンバーを作っていく。そこに肉付けていけばいいのではないかと思う。市としては、今後新しい形のまつりを実施していきたいという想いを各団体の組織に持ち帰っていただいて、市からこんな話があった、こんなことができるのでは、こんな人材がいる等の話をさせていただきたい。1カ所か分散型かというご意見もあったが、その部分を含めて色々なご意見を聞かせてもらえればと思う。団体さんが集まる機会があれば参加させていただき、ご意見を聞くのもありだと思っている。引き続きご協力をお願いしたい。

<終了>